

新国立劇場ニュース

報道関係者各位

(全4枚送付)

2022年6月16日

公益財団法人 新国立劇場運営財団

**新国立劇場演劇公演『反応工程』及びオペラ公演『ドン・パスクワレ』
無料映像配信決定のお知らせ
～新国立劇場の珠玉の2作品が「新国デジタルシアター」に登場～**

「新国デジタルシアター」は、より多くの幅広い世代のお客様に、時や場所を選ばずに新国立劇場の舞台芸術をご鑑賞いただけるよう、2021年11月に開設した映像配信プラットフォームです。

現在配信中の演劇『あーぶくたった、にいたった』に続く、この夏の配信ラインアップに、2021年7月にフルオー디션企画・第2弾として新国立劇場にて上演された演劇『反応工程』及びドニゼッティ作曲による愛らしいラブ・コメディ『ドン・パスクワレ』が登場いたします。『反応工程』は7月1日(金)より、『ドン・パスクワレ』は7月8日(金)より2か月間無料配信いたします。

■配信メディア

新国立劇場ウェブサイト内 新国デジタルシアター (<https://www.nntt.jac.go.jp/stream/>)

■配信期間

演劇『反応工程』(2021年7月19日上演) ※演出・千葉哲也のインタビュー映像付き
2022年7月1日(金)12時～9月1日(木)12時

オペラ『ドン・パスクワレ』(2019年11月9日上演)
2022年7月8日(金)12時～9月8日(木)12時

報道関係者各位におかれましては、一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

広報室：松延、小松、西島

TEL：03-5352-5781 / FAX：03-5352-5709 / E-mail：press@nntt.jac.go.jp

演劇広報：関

TEL：03-5352-5738 / FAX：03-5352-5709 / E-mail：seki_m0616@nntt.jac.go.jp

オペラ広報：高梨

TEL：03-5352-5733 / FAX：03-5352-5709 / E-mail：takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

【概要】

演劇『反応工程』

2020/2021 シーズン演劇

収録日：2021年7月19日上演

日本語上演

劇作家・宮本研が自身の経験をもとに、終戦前夜の軍需工場で生きる人々を通じて国家と個のせめぎあいを鮮やかに描いた作品。

小川絵梨子が芸術監督就任の際に掲げた支柱の一つ、「演劇システムの実験と開拓」として、全キャストをオーディションで選考し、作り手が新しい俳優と、俳優が新しい演出家と、劇場が新しい作り手たちと出会い、作品を立ち上げていくフルオーディション企画の第2弾として上演されました。



演出には、俳優としても演出家としても新国立劇場で多くの作品に携わってきた千葉哲也を迎え、2018年10月末より12月中旬まで6週間に及ぶオーディションを開催、多数の応募者の中から、14人の俳優が出演する作品となりました。

今回の配信では、演出を手がけた千葉の撮り下ろしインタビュー映像もあわせてお届けいたします。

【作】宮本 研	【演出】千葉哲也
【美術】伊藤雅子	【照明】中川隆一
【音響】藤平美保子	【衣裳】中村洋一
【ヘアメイク】高村マドカ	【アクション】渥美 博
【方言指導】下川江那	【演出助手】渡邊千穂
【舞台監督】齋藤英明、清水浩志	

【出演】天野はな、有福正志、神農直隆、河原翔太、久保田響介、清水 優、神保良介、高橋ひろし、田尻咲良、内藤栄一、奈良原大泰、平尾 仁、八頭司悠友、若杉宏二

■あらすじ

太平洋戦争の敗色濃い1945年8月、九州中部にある軍需指定工場。戦前は染料を製造するためだった工場も、今ではロケット砲の推進薬を作り出す“反応工程”の現場となっている。田宮、林、影山らの動員学徒も配属され、日夜、古株の工員らと共に汗を流している。勝利を信じる田宮だったが、勤労課の職員である太宰に戦争の本質を説かれ、禁書となっている本を渡される。そんな中、影山に召集命令が下り……。

オペラ『ドン・パスクワレ』

2019/2020 シーズンオペラ

収録日：2019年11月9日上演

イタリア語上演／日本語及び英語字幕付き

ベルカント・オペラの巨匠として名高いドニゼッティの傑作オペラ。華やかな声の饗宴にのせて、大金持ちの老人ドン・パスクワレが甥エルネストの恋人ノリーナと医師のマラテスタに一泡ふかされるドタバタ劇が繰り広げられます。ヴィツィオーリによる演出は、舞台ファンの心をくすぐるイリュージョンのような舞台転換、精緻な舞台美術、絵画のような衣裳、そして4人の主要な登場人物を実に魅力的に描き出したもの。スカンディウッツィ、ピッツーティ、ミロノフ、トロシヤンら珠玉のキャストが織りなす芸達者な演技と歌唱は客席を大いに沸かせました。



【作曲】ガエターノ・ドニゼッティ

【指揮】コッラード・ロヴァーリス

【美術】スザンナ・ロッシ・ヨスト

【照明】フランコ・マッリ

【演出】ステファノ・ヴィツィオーリ

【衣裳】ロベルタ・グイディ・ディ・バーニョ

【演出助手】ロレンツォ・ネンチーニ

【ドン・パスクワレ】ロベルト・スカンディウッツィ

【マラテスタ】ビアジオ・ピッツーティ

【エルネスト】マキシム・ミロノフ

【ノリーナ】ハスマック・トロシヤン

【公証人】千葉裕一

【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団

【合唱】新国立劇場合唱団

■あらすじ

大金持ちの老人ドン・パスクワレは、跡継ぎである甥のエルネストが縁談を断るため、自分が結婚して子供を作ると宣言する。エルネストは若い未亡人ノリーナと愛し合っているのだ。医者でエルネストの友人マラテスタは、若い二人のために一計を案じる。自分の妹と偽り、ノリーナをパスクワレに紹介。清純な娘を演じるノリーナにパスクワレは一目惚れし、結婚契約書に署名するが、その途端ノリーナはわがままで贅沢三昧の悪妻に豹変。パスクワレは困り果ててしまい……。

■新国デジタルシアターとは？



「新国デジタルシアター」は、新国立劇場が2021年11月に開設した、主催公演等の映像配信を行うプラットフォームです。

2020年春以降、当劇場では、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの公演中止を余儀なくされましたが、その一方で新たな試みとして公演映像のオンライン配信事業にも取り組んでまいりました。

その反響を受け、より多くの幅広い世代のお客様に、時や場所を選ばずに新国立劇場の舞台芸術をご鑑賞いただくために本プラットフォームを開設いたしました。

配信作品は、今後も随時追加、ご案内してまいります。

本デジタルシアターが、新国立劇場とより多くのお客様の出会いの場となるとともに、舞台芸術の新たな鑑賞スタイルの一つになることを願っています。

■新国デジタルシアター ～現在配信中の作品～

演劇『あーぶくたった、にいたった』

(2021年12月15日上演)

2021/2022 シーズン

日本語上演

配信期間：配信中～2022年6月20日(月) 12:00

